

■ 沼田市の現状及び課題

人口

- 市全体で人口減少が進行、特に生産年齢の人口の減少や高齢化率の増加が顕著
- 就業者・通学者は流出過多
特に通学者は前橋市や高崎市へ流出
- 地域の賑わい低下**

財政

- 公共施設の老朽化により改修に必要な費用が増加
- 人口減少、地価低下による市税減少の恐れ
- 継続的な公共サービス提供に懸念**

土地利用

- DID（人口集中地区）の人口密度や面積が減少傾向
一方で用途地域外の都市的土地利用面積は比較的多く、特に住宅用地として利用
- 空家総数や空家率は増加傾向
- 郊外への居住者増加による、都市の低密度化**

都市交通

- 市内の集落地域や近隣町村とのアクセスが可能な公共交通が運行
- 鉄道や路線バスの利用者数は減少傾向
- 公共交通の維持が困難**

災害

- 利根川沿川に洪水浸水想定区域、用途地域内の一部地域に土砂災害（特別）警戒区域が指定
- 洪水・土砂災害による人的被害・建物被害の懸念**

■【市民意向】

- 都市機能施設を利用する際の主な行き先としては、沼田地区が最も多い
一方で白沢地区、利根地区の居住者が「市の窓口」、「子育て支援施設」、「金融機関」等を利用する際は居住している地区内に立地する施設を利用する傾向
- ・都市機能施設が沼田地区に集積**
・白沢、利根地区においては地区内に立地する施設を利用する割合が他地区と比較して高い

■【都市の将来目標】

沼田都市計画マスタープラン

- 都市づくりの基本理念「豊かな自然とまちの魅力を活かしたところ豊かに暮らせるまちづくり」
- 沼田地区を都市再生拠点、白沢・利根地区を地域交流拠点に設定

沼田市地域公共交通計画

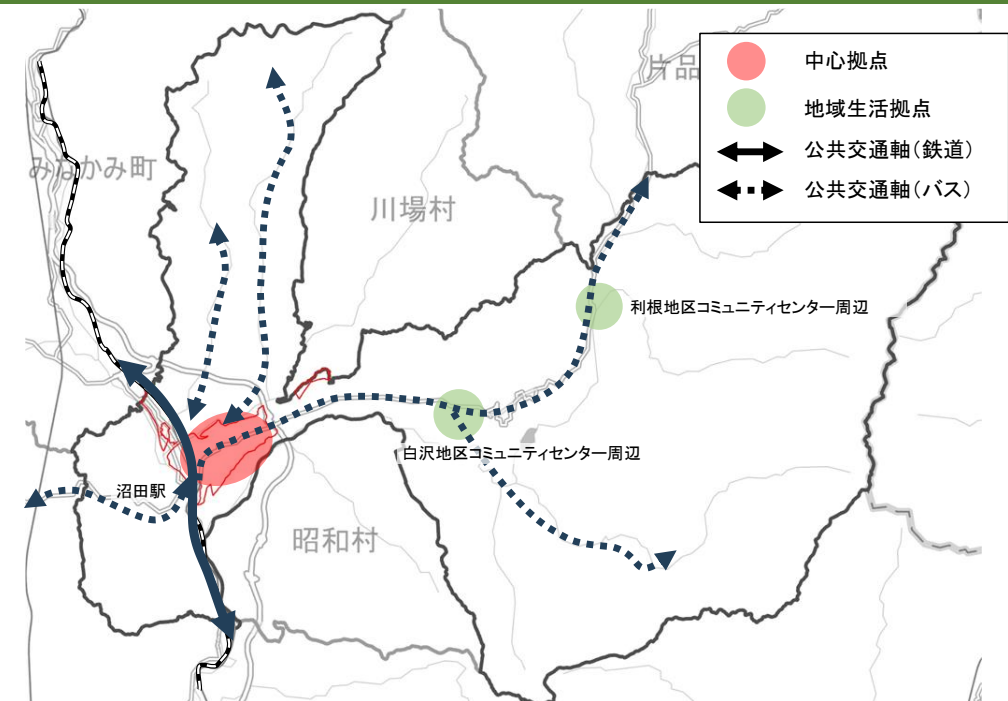
- 持続可能な地域公共交通ネットワークの構築、快適性の高い利用環境の整備と利用促進の積極的実施、充実した公共交通網の検討

■【立地適正化計画での対応】

中心市街地や沼田駅周辺の魅力を高め市街地への居住を誘導することで、まちのまとまりを形成すると共に、都市計画区域外の拠点（白沢、利根）においてもコミュニティや生活環境を維持し、市街地と拠点を公共交通ネットワークでつなぐ多極ネットワーク型都市構造の実現を図る。

■ 沼田市立地適正化計画の基本方針

**豊かな自然とまちの魅力を活かした
ところ豊かに暮らせるまちづくり**
～多極型ネットワークの形成による安心で住み続けられるまち～



【１】都市機能が集積する中心拠点の賑わい創出による魅力向上

都市機能

- ・沼田駅周辺や中心市街地における都市機能（商業・業務・行政サービスなど）の集積による利便性の向上
- ・ウォカブルなまちづくり、空き家解消等による中心拠点の活性化・賑わい創出
- ・子育て世代、高齢者や障害者の利便性が高い生活支援サービスの充実
- ・魅力的な観光資源、歴史文化資源等の回遊性向上と交流の創出
- ・行政・企業、市民等の協働による交流活性化 等

【２】拠点のコミュニティ機能維持による安心安全で良好な居住環境の実現

居住

- ・安心安全な居住環境の創出
- ・多様な住まい方（二地域居住やスローライフの実現など）の実現
- ・土地区画整理事業による居住環境の向上
- ・地域生活拠点のコミュニティ機能の維持 等

【３】拠点をつなぎ交流を生む公共交通ネットワークの形成

公共交通

- ・交通結節点及び接続拠点、バス待ち環境等の整備・充実
- ・路線バス、デマンド交通のほか、一般タクシー、スクールバスなどを含めた、住民にとって有益な公共交通ネットワークの構築
- ・地域住民への利用促進・利用機会の創出のためのモビリティ・マネジメント 等

まちづくりの方針

骨格構造

誘導方針